

消えつつある「保守本流」の灯

「保守」という言葉が変質してきました。戦後の自民党政治が掲げてきた「保守本流の政治」とは、吉田茂や石橋湛山はじめ、米国に主張し妥協点を見付けながら協力し、近隣諸国とも協調する努力をして我が国の存在意義を確立し、この国の伝統文化ならびに、自由主義(リベラリズム)や民主主義といった価値観を大切にしながら、この国を危機から救い、経済発展をもたらした政治です。

自分達と違う意見を排除し、強い国の言いなりになるような政治。また戦後政治を否定し、戦前回帰を目指すような政治は、本来の「保守本流の政治」ではありません。

現在の「保守」の劣化を放置しては、この国の政治は更に国民の意志から乖離してしまいます。落合貴之は、この

国の「健全な保守政治」「穏健な保守政治」「保守本流の政治」の復活を期し、これからも活動してまいります。



若者の政治参加を



苦勞なく親を継いだ世襲政治家や、元々知名度のあるタレントばかりで、この国を背負うにふさわしいリーダーがなかなか現れない我が国の政界。やる気のある若者達に、どんどん、この政界に打って出てもらわなくてはなりません。落合貴之は、自民党はじめ超党派の若手議員と共に、「若者政策推進議員連盟」を結成いたしました。被選挙権年齢の引き下げや、供託金のあり方、ネット投票の検討など、この政界における人材の入れ替えと質の向上を図るため、党派を超えて、議論と行動を続けてまいります。

「立憲パートナーズ」募集中

政治家にお任せするのではなく、国民が政治に参加をする仕組みをつくらなければ、いつまでたっても政治家達のやりたい放題。落合貴之が立ち上げにも参画した立憲民主党は、旧来型の黨員制度を無くし、議員と賛同する有権者が一緒に党を創っていく「パートナーズ」制度を採用しています。「右でもなく左でもなく、前へ」。立憲民主党を健全に成長させるため、党のパートナーになってくださる方、興味のある方、是非、私の事務所までご連絡ください。

国会議員活動評価「三ツ星」獲得

NPO 法人「万年野党」(田原総一郎会長、宮内義彦理事長)が毎年発表している「国会質問王ランキング」。第190回国会版にて、落合貴之は、最高位「三ツ星」の評価(上位約2%)を獲得しました。有権者・納税者の声を国会に届けてまいります。



衆議院議員
落合貴之事務所

contact@
ochiitakayuki.com

〒154-0017
東京都世田谷区世田谷
1-12-14 原ビル 2F

● TEL:03-6312-4505
● FAX:03-6312-5308

2018年9月5日発行

RIKKEN
MINSHU
号外

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主
The Constitutional Democratic Press